



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月9日

上場会社名 石光商事株式会社 上場取引所 JQ
 コード番号 2750 URL http://www.ishimitsu.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)森本 茂
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役執行役員 (氏名)山根 清文 TEL 078-861-7791(代表)
 管理部門長
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	8,209	1.6	7	△93.5	26	△66.7	14	△51.4
22年3月期第1四半期	8,082	△13.7	108	59.3	78	144.6	30	13.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	1 92	—
22年3月期第1四半期	3 81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	17,783	7,195	39.4	909 71
22年3月期	17,801	7,306	40.0	923 55

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 7,012百万円 22年3月期 7,119百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0 00	—	10 00	10 00
23年3月期	—				
23年3月期(予想)		0 00	—	10 00	10 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,469	1.6	138	△29.2	115	△17.8	65	5.8	8 55
通期	33,885	3.8	550	0.4	502	△3.7	273	△25.9	35 51

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

（注） 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

（注） 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

（注） 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	8,000,000株	22年3月期	8,000,000株
23年3月期1Q	291,600株	22年3月期	291,600株
23年3月期1Q	7,708,400株	22年3月期1Q	7,989,846株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
生産、受注および販売の状況	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、継続的な企業収益の改善により、景気回復が期待されるものの、欧州の財政問題に端を発する金融不安、信用収縮の動きから海外景気の下振れ懸念やデフレの影響など、景気動向は依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主力マーケットである食品業界におきましては、個人消費は持ち直しの動きがみられるものの、失業率は高水準にあり、また個人消費の動向を反映した安値価格競争が続くなど、依然として経営環境は厳しい状況にあります。

このような状況の中で、当社グループは「THE GLOBAL FOOD MERCHANDISER」を目指すべき企業像として掲げ、最適産地の発掘から製造、流通、マーケティング、品質管理等の全ての工程に関わり合っ商品価値を高めていく、いわゆるマーチャンダイジング活動に全力を注ぎ、「食」を通じて人々とともに喜びを共有できる企業を目指しております。

また、当期は緊縮体制（「ロスのゼロ化」、「コスト削減」、「商品や取引の選択と集中」）の継続に加え、成長戦略として「国内営業強化」、「海外営業強化」、「体制強化」という3つの強化策に取り組んでおります。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は8,209百万円と前年同期比126百万円の増加となりました。

利益面につきましては、売上高の増加および売上総利益率の上昇により、売上総利益は前年同期に比べ増加いたしました。また、販売費及び一般管理費の節減にも努めてまいりましたが、確定給付企業年金の年金資産の時価評価下落に伴う退職給付費用が前年同期に比べ95百万円増加したこと等により、営業利益は7百万円（前年同期比93.5%減少）、経常利益は26百万円（前年同期比66.7%減少）、四半期純利益は14百万円（前年同期比51.4%減少）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における各品目別の売上高の状況は次のとおりであります。

① コーヒー生豆

コーヒー生豆の売上高は販売数量が減少したものの、相場上昇に伴う販売単価の上昇により、1,113百万円（前年同期比5.0%増加）となりました。

② 飲料製品および原料

レギュラーコーヒーの売上高は飲料メーカー向け原料が増加したため、前年同期比5.2%増加いたしました。インスタントコーヒーの売上高は、家庭用のパック商品および飲料メーカー向け原料が増加したため、前年同期比21.0%増加いたしました。茶類の売上高は、飲料メーカー向け原料が減少したものの、家庭用の紅茶ティーバッグが増加したため、前年同期比4.4%増加いたしました。その結果、飲料製品および原料の売上高は1,194百万円（前年同期比4.4%増加）となりました。

③ 常温食品

輸入商品や自社ブランド商品の売上高はフルーツ缶詰が減少したものの、イタリア商品が増加したため、前年同期比1.8%増加いたしました。国内メーカー商品の売上高は中国向けの輸出が増加したものの、香港向けの輸出および国内販売が減少したため、前年同期比2.1%減少いたしました。その結果、常温食品の売上高は2,283百万円（前年同期比1.2%減少）となりました。

④ 冷凍食品

輸入水産加工品の売上高は外食店向けのエビ加工品が増加したため、前年同期比7.3%増加いたしました。輸入調理加工品の売上高は新商品の開発および新規得意先の獲得等により、前年同期比20.1%増加いたしました。国内メーカー商品の売上高は国内販売が減少したものの、中国および米国向けの輸出が増加したため、前年同期比1.6%増加いたしました。その結果、冷凍食品の売上高は2,182百万円（前年同期比4.6%増加）となりました。

⑤ 食品原料

食品原料の売上高は生鮮野菜が増加したものの、トマト加工品が減少したため、1,354百万円（前年同期比0.7%減少）となりました。

⑥ その他

その他の売上高につきましては、80百万円（前年同期比30.3%減少）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債および純資産の状況

(資産)

総資産は17,783百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円の減少となりました。これは売上債権およびたな卸資産が増加したものの、現金及び預金が減少したことによるものであります。

(負債)

負債合計は10,588百万円となり、前連結会計年度末に比べ92百万円の増加となりました。これは社債および借入金が増加したものの、仕入債務および未払金が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、当第1四半期連結累計期間が14百万円の四半期純利益となりましたが、配当金の支払77百万円等により、前連結会計年度末に比べて110百万円減少の7,195百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,182百万円減少し、1,639百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は785百万円（前年同期は110百万円の収入）となりました。

これは、主に税金等調整前四半期純利益23百万円および仕入債務の増加額159百万円等に対し、たな卸資産の増加額659百万円および売上債権の増加額465百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は41百万円（前年同期に比べ使用した資金は14百万円増加）となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出29百万円および無形固定資産の取得による支出9百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は353百万円（前年同期に比べ使用した資金は114百万円増加）となりました。

これは、借入金の収支による支出191百万円および社債の償還による支出70百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成22年5月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,736,777	2,919,429
受取手形及び売掛金	5,519,100	5,053,582
商品及び製品	3,544,491	3,031,609
未着商品	613,618	463,245
仕掛品	9,674	13,551
原材料及び貯蔵品	43,757	43,726
その他	299,874	321,362
貸倒引当金	△161,788	△150,958
流動資産合計	11,605,507	11,695,549
固定資産		
有形固定資産	2,671,333	2,640,304
無形固定資産	153,307	154,399
投資その他の資産		
投資有価証券	2,908,128	2,870,599
その他	835,265	810,433
貸倒引当金	△410,767	△392,465
投資その他の資産合計	3,332,626	3,288,567
固定資産合計	6,157,267	6,083,271
繰延資産	20,952	22,754
資産合計	17,783,726	17,801,575

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,981,966	2,822,279
短期借入金	910,000	849,600
1年内償還予定の社債	180,000	180,000
1年内返済予定の長期借入金	939,392	984,122
未払法人税等	5,241	153,729
賞与引当金	80,748	129,853
その他	1,510,390	1,146,588
流動負債合計	6,607,738	6,266,172
固定負債		
社債	840,000	910,000
長期借入金	2,273,932	2,481,280
退職給付引当金	111,322	61,674
その他	755,054	775,975
固定負債合計	3,980,309	4,228,930
負債合計	10,588,048	10,495,102
純資産の部		
株主資本		
資本金	623,200	623,200
資本剰余金	357,000	357,000
利益剰余金	6,273,476	6,335,775
自己株式	△107,375	△107,375
株主資本合計	7,146,301	7,208,600
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,543	6,453
繰延ヘッジ損益	△149,422	△95,948
評価・換算差額等合計	△133,878	△89,495
少数株主持分	183,255	187,367
純資産合計	7,195,678	7,306,472
負債純資産合計	17,783,726	17,801,575

(2) 四半期連結損益計算書
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	8,082,494	8,209,233
売上原価	7,025,100	7,077,115
売上総利益	1,057,394	1,132,118
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	17,799	29,834
報酬及び給料手当	263,454	275,570
賞与引当金繰入額	56,382	73,436
その他	611,137	746,253
販売費及び一般管理費合計	948,774	1,125,094
営業利益	108,619	7,023
営業外収益		
受取利息	1,103	956
受取配当金	2,300	1,623
持分法による投資利益	8,243	28,902
受取賃貸料	6,300	6,300
その他	9,826	23,849
営業外収益合計	27,773	61,631
営業外費用		
支払利息	27,081	25,032
その他	30,488	17,355
営業外費用合計	57,569	42,387
経常利益	78,823	26,267
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	703
特別利益合計	—	703
特別損失		
固定資産除却損	4,894	2,675
その他	—	347
特別損失合計	4,894	3,022
税金等調整前四半期純利益	73,929	23,948
法人税、住民税及び事業税	2,542	3,335
法人税等調整額	39,524	5,542
法人税等合計	42,066	8,877
少数株主損益調整前四半期純利益	—	15,070
少数株主利益	1,435	285
四半期純利益	30,427	14,784

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	73,929	23,948
減価償却費	47,206	49,637
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	24,603	29,131
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16,785	△49,104
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△46,653	49,648
受取利息及び受取配当金	△3,404	△2,580
支払利息	27,081	25,032
為替差損益 (△は益)	797	2,666
持分法による投資損益 (△は益)	△8,243	△28,902
固定資産除却損	4,894	2,675
売上債権の増減額 (△は増加)	△122,670	△465,517
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△70,337	△659,410
仕入債務の増減額 (△は減少)	213,163	159,686
その他の資産の増減額 (△は増加)	△16,756	12,916
その他の負債の増減額 (△は減少)	36,833	233,582
その他	293	1,660
小計	143,952	△614,929
利息及び配当金の受取額	3,314	2,165
利息の支払額	△27,893	△27,361
法人税等の支払額	△8,516	△145,193
営業活動によるキャッシュ・フロー	110,856	△785,317
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2	△0
有形固定資産の取得による支出	△17,965	△29,957
無形固定資産の取得による支出	△1,414	△9,825
投資有価証券の取得による支出	△904	△952
子会社株式の取得による支出	△800	—
貸付けによる支出	△5,000	—
貸付金の回収による収入	1,460	210
その他の支出	△3,288	△3,679
その他の収入	1,364	3,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,550	△41,204

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	80,000	110,000
短期借入金の返済による支出	△27,800	△49,600
長期借入れによる収入	35,000	—
長期借入金の返済による支出	△262,314	△252,078
社債の償還による支出	△35,000	△70,000
リース債務の返済による支出	△11,537	△13,937
自己株式の取得による支出	△13	—
配当金の支払額	△15,209	△73,456
少数株主への配当金の支払額	△2,236	△4,393
財務活動によるキャッシュ・フロー	△239,112	△353,464
現金及び現金同等物に係る換算差額	△797	△2,666
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△155,603	△1,182,653
現金及び現金同等物の期首残高	1,762,351	2,821,952
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,606,748	1,639,299

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注および販売の状況

当社グループ(当社および連結子会社)は単一セグメントに該当するため、品目別に生産、受注および販売の状況を記載しております。

(1) 生産実績および受注状況

当社グループのうち連結子会社において飲料製品(レギュラーコーヒー)の生産を行っておりますが、グループ事業全体における重要性が低いため、生産実績および受注状況については記載しておりません。

(2) 商品仕入実績

当第1四半期連結累計期間における仕入実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	金額(千円)	前年同四半期比(%)
コーヒー生豆	1,319,970	132.29
飲料製品および原料	812,584	122.66
常温食品	2,026,093	100.11
冷凍食品	2,000,151	97.95
食品原料	1,249,910	95.82
その他	79,174	79.42
合計	7,487,885	105.02

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 上記のコーヒー生豆の金額には、飲料製品および原料の製品を連結子会社2社で生産するために使用する原料分を含んでおります。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	金額(千円)	前年同四半期比(%)
コーヒー生豆	1,113,314	104.95
飲料製品および原料	1,194,684	104.43
常温食品	2,283,287	98.81
冷凍食品	2,182,309	104.59
食品原料	1,354,794	99.30
その他	80,844	69.70
合計	8,209,233	101.57

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。